

本専門部では、茨城県教育庁学校教育部保健体育課・全日本剣道連盟・全国高体連剣道専門部・茨城県剣道連盟発出のガイドラインをもとに、専門部としてのガイドラインを以下のとおり定め、大会を開催します。

【専門部での感染対策】

- 1 参加同意書・健康チェックシート・来場者名簿の提出を求める。
- 2 無観客での開催とする。男女個人の日は、選手１人につき、１名の付き添いは認めるが、それ以上の入場は認めない。男子団体は男子剣道部員のみ入館、女子団体は女子剣道部員のみ入館とする。（ただし、補助員についてはこの限りではない。）
- 3 こまめな換気と手指消毒の遵守。（消毒液を入り口、審判席に設置）
- 4 開閉会式を簡略化し、ソーシャルディスタンスを確保し整列させる。
- 5 選手は面マスク・マウスガードの着用を義務化し、その他のシールド着用は推奨する。
（面マスクの着用については、鼻まで覆うこととする。）
- 6 役員・審判員・補助員も競技中の不織布マスクの着用を必須とする。
- 7 鏝迫り合いの時間を短くするため、早めに「分かれ」をかける。
- 8 面マスク着用での試合の為、熱中症等のリスクを考慮し選手をよく観察する。
- 9 竹刀検量は実施しない。竹刀点検は各校で行い、（公財）全日本剣道連盟剣道試合規則・審判細則で定める基準を満たすものを準備・使用すること。
- 10 各会場におけるいばらきアマビエちゃんへの登録を推奨する。
- 11 男女個人戦時は、選手１人につき、１名の付き添い（試合会場への入場）を認めるが、付き添いの練習は原則不可とする。

【選手自身が行う感染対策】

- 1 参加同意書・健康チェックシートの提出。
- 2 手指消毒の徹底。
- 3 面マスク・マウスガードの着用義務化。
（面マスクの着用については、鼻まで覆うこととする。）
- 4 不織布マスクを着用する。ただし、面着用時は他のマスクの着用を認める。
- 5 発熱や風邪症状等の体調不良者は参加しない。
- 6 応援は拍手のみで行い、ソーシャルディスタンスを意識する。
- 7 飲食する際は手洗い・うがいを徹底し、対面での食事は避ける。
- 8 ごみの持ち帰りの徹底。
- 9 いばらきアマビエちゃんへの登録。

【全参加者の陰性確認について】

全参加者は、新型コロナウイルスの陰性を確認の上、大会への参加を可とします。下記を参照に、各学校ないし各自で医療機関又は検査機関、検査方法を選んで検査してください。

感染症予防対策責任者は、参加者の陰性の確認が取れたら、「大会参加者名簿（延期版）」の「陰性である」の欄に、○印を記入し、「健康チェックシート」と併せて、大会当日受付に提出してください。また、陰性の確認となる書類・写真等のデータを保存しておいてください。陰性確認が取れていない者は大会に参加することができません。

検査の実施と陰性確認した上での大会参加については、学校長の承認を得てください。

〈参照〉〔検査方法について〕

- ・文科省から示されている「高校等における抗原簡易キットの活用の手引き」を参考に学校で検査。（校内での検査については学校長の了承を得てください。）
- ・茨城県ホームページに「感染不安を感じる方への PCR 等無料検査のご案内について」が掲載されている薬局等で検査。
- ・医療機関での検査。
- ・各自で検査キットを購入しての検査。

〔検査方法の有効期限について〕

- ・PCR 検査等の場合の有効期限：検体採取日＋3 日
- ・抗原定性検査キットの有効期限：検査日＋1 日

※検査費用が必要な場合は自己負担となります。